

$\frac{8}{9}$ m²の花だんに肥料をまきます。1 m²あたり $\frac{5}{4}$ kgの肥料をまくとすると、何kgの肥料が必要ですか。



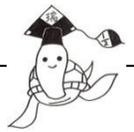
この文章問題を解く式は、次のうちどれでしょう。1つ選んで○をつけ、その式を選んだ理由を、図や式、ことばなどを使ってかきましょう。

① () $\frac{8}{9} \times \frac{5}{4}$

② () $\frac{8}{9} \div \frac{5}{4}$

③ (○) $\frac{5}{4} \times \frac{8}{9}$

(50点)

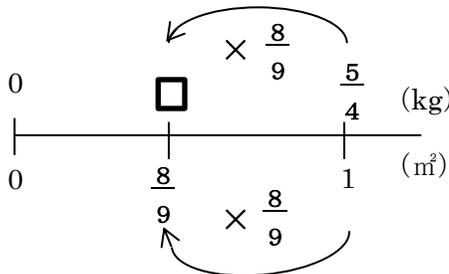


選んだ理由

(50点)

例1) 1 m²あたり $\frac{5}{4}$ kgの肥料をまく時に、肥料をまく花だんの面積は $\frac{8}{9}$ m²だから、1 m²あたりにまく量×花だんの面積で必要な肥料の量が求められる。そこで、式は $\frac{5}{4} \times \frac{8}{9}$ になる。($\frac{5}{4}$ kgが $\frac{8}{9}$ m²分)

例2)



数直線を書くと、左のように

なり、 $\square = \frac{5}{4} \times \frac{8}{9}$

だとわかる。



解説

例1は、「1 m²あたり」という5年生で学習した単位量あたりの大きさの考え方を使って説明しています。例2は、数直線を使って考えるやり方ですね。数直線図がかけるようになると、何算をすればいいのかも分かりやすくなるので、使えるようになるといいですよ。図と言葉をセットで説明したり、他の式が間違っている理由を書いたりしていた人は、プラス点です。今回の数学者は古代ギリシャのユークリッドです。「幾何学きかがくの父」と言われていて、図形こだいのことについて研究をした人です。